

# 禁煙の飲食店 いいね!

## 受動喫煙防止へ紹介サイト

他人のたばこの煙を吸い込む「受動喫煙」の被害防止へ、大阪府立成人病センターの研究者が、全面禁煙を決めた居酒屋やバーをフェイスブックで紹介する取り組みを進めている。国は受動喫煙の対策を呼びかけているが、客離れの不安から飲食店では遅れている。「努力する店を応援したい」と意気込んでいる。

同センターでがん対策を  
高まるとの研究もあるとい  
う。

がんや脳卒中になるリスクを高める。特に肺がんになるリスクは、受動喫煙しなかった人に比べて1.3倍



伊藤ゆりさん

### 成人病センター研究員 一般投稿も

しかし、全国飲食業生活衛生同業組合連合会(東京)が2012年に全国の飲食店を対象に行ったアンケートでは、全面禁煙にしている店は居酒屋では2.6%にとどまる。

こうしたことから、伊藤さんが昨年10月、フェイスブックで全面禁煙の店を紹介するサイトを開設。仏のガイドブック「ミッシュランガイド」をまねて、「ゲームランク」美味し禁煙飲食店」と名付けた。

店は、伊藤さんが同僚との飲み会や出張などの度に探して回り、関西を中心に、東京、北海道なども含め計約50店を見つけた。店名や料理を紹介し、「海外は飲食店禁煙が当たり前」「京都には外国人が多いので禁煙が広まれば」と、ひと言添える。来春には一般の人からの投稿も募る計画だ。

立ち飲み居酒屋「百足」のために店外に喫煙場所を設けている。



全面禁煙を決め、フェイスブックで紹介された居酒屋(5日、大阪市北区で) 宇那木健一撮影

厚生労働省が2015年11月に全国約5000世帯を対象に行った国民健康・栄養調査では、過去1か月間に受動喫煙を経験した場所として飲食店をあげた人が41.4%で最も多かった。受動喫煙対策を望む場所としても最多の35%の回答があった。

### 受動喫煙経験 飲食店が最多4割



い。店側の分煙の努力を尊重してほしい」と反発している。8日に開かれた自民党の厚生労働部会でも「分煙で対応できる」などと飲食店内の禁煙に反対する意見が相次いだ。

伊藤さんのサイトには連日、「たばこの煙やにおいを避けて逃げ出すことしかできなかったが、希望が生まれた」など歓迎の声が寄せられている。

ただ、全面禁煙の居酒屋はまだ少数派。大阪市内のある焼き鳥店は「店に長居してもらうには喫煙できる環境が必要。禁煙にすれば確実にお客さんが減り、経営が成り立たない」と打ち明ける。

伊藤さん自身、かつて喫煙者だったという。「たばこを楽しむ権利は大切だが、周りの人をリスクにさらしてはいけない。努力しているお店を少しでも応援できれば」と話している。